

第5次男女共同参画基本計画の策定に向けたコンセプト(議論のためのたたき台)

目指すべき社会

資料3

I 男女が自らの意思に基づき、個性と能力を十分に発揮できる、公正で多様性に富んだ、活力ある持続可能な社会

II 男女の人権が尊重され、尊厳を持って個人が生きることのできる社会

III 仕事と生活の調和が図られ、男女が共に充実した職業生活、その他の社会生活、家庭生活を送ることができる社会

IV SDGsの達成に向け、男女共同参画・女性活躍を分野横断的に主流化し、様々な主体が連携して取り組む社会

社会情勢の現状認識

1. 少子・高齢化と未婚・単身世帯の増加
2. 人生100年時代の到来
3. 経済分野を中心に、女性のエンパワメントが大きく進展
4. 働き方改革、女活法等に基づく取組開始
5. AIなどの技術進歩(第4次産業革命)
6. 国内外で高まる女性に対する暴力への問題意識
7. 頻発する大規模災害
8. SDGsの達成に向けた世界的な潮流

どのような課題があるか

◇ 持続可能なかつ国際社会に調和した経済社会の実現に不可欠な、男女の能力発揮と意思決定への参画

◇ 男女共に自らの選択によって人生を設計することができ環境の整備

具体的には、

- (1) 女性登用や意思決定過程への女性参画の一層の加速
- (2) 生活の場(地域・家庭)における男女共同参画の一層の推進
- (3) 女性に対する暴力の予防・根絶
- (4) 高齢単身・ひとり親世帯など、生活上の困難を抱えるすべての女性への支援
- (5) 防災・復興における男女共同参画の視点の一層の強化
- (6) SDGsすべての目標の実現に必要な、ジェンダー平等の実現及びジェンダー視点の主流化

取組が進まない場合、各人の意欲・能力を十分に活かせず、生きづらい社会になりかねない。多様な発想によるイノベーションが生まれなくなる恐れ、世界的な人材獲得競争に勝てなくなる恐れ

今が我が国経済社会の持続的発展を確保できるか否かの分水嶺であるとの認識の下、男女共同参画に取り組むことが必要

取り組むべき事項及び基本的な視点

① 持続可能な活力ある我が国社会を次世代に引き継ぐため、また、SDGs(持続可能な開発目標)の達成のためには、男女共同参画・女性活躍が分野横断的な価値として不可欠であり、あらゆる分野において男女共同参画・女性活躍の視点を常に確保し施策に反映する必要。次世代に向けたメッセージを打ち出すことも重要。【WG1、WG2】

② 「30%目標」の達成とその先の「実質的な男女の平等の実現」に向け、ポジティブ・アクションも含め、人材登用・育成を強化する必要。【WG1、WG2】

③ 男女共同参画は、男性にとっても重要(男性がより暮らしやすくなるもの)であり、男女が共に進めていくもの。特に、男女共同参画を家庭や地域など生活の場にも広げることが重要。その際、アンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)も含め、性別に基づく固定観念が男女どちらかに不利に働かないよう取り組む必要。【WG2】

④ 人生100年時代を見据えて、男女が健康な生活を実現し、学び続け活躍し続けられる環境の整備、仕事と家事・育児・介護を両立できる環境の整備に取り組む必要。

【WG1、WG3】

⑤ AI、IoT等の科学技術の発展に男女が共に寄与するとともに、その発展が男女共同参画に資する形で進むよう取り組む必要。【WG2】

⑥ 女性に対する暴力をめぐり状況の多様化に対応しつつ、女性に対するあらゆる暴力の根絶に向けて取組を強化する必要。【WG4】

⑦ 多様な困難を抱えるすべての女性に対するきめ細かな支援を行うことにより、女性が安心して暮らせるための環境整備を進める必要。【WG4】

⑧ 頻発する大規模災害の経験も踏まえ、男女共同参画の視点による防災・復興対策を浸透させる必要。【WG3】

⑨ 地域の実情・特性を踏まえた主体的な取組が全国各地で展開されるよう、地域における様々な主体や男女共同参画センターとの連携強化を含め、推進体制をより一層強化する必要。【WG3】

第6次男女共同参画基本計画の策定に向けたコンセプト（議論のためのたたき台）

資料7

目指すべき社会

- | | | | |
|--|------------------------------------|---|---|
| I 男女が自らの意思に基づき、個性と能力を十分に発揮できる、公正で多様性に富んだ、活力ある持続可能な社会 | II 男女の人権が尊重され、尊厳を持って個人が生きることのできる社会 | III 仕事と生活の調和が図られ、男女が共に充実した職業生活、その他の社会生活、家庭生活を送ることができる社会 | IV あらゆる分野に男女共同参画・女性活躍の視点を取り込み、国際社会と協調する社会 |
|--|------------------------------------|---|---|

社会情勢・現状

第6次男女共同参画基本計画の策定に向けて留意すべき社会情勢や現状は以下のとおり。

1 社会構造の動向・変化

- ① 人口減少、世帯構成の変化等
 - ・生産年齢人口の減少、人手不足、超高齢化
 - ・世帯の単独化、共働き割合の増加
 - ・在留・訪日外国人の増加
- ② 就業・生活の在り方
 - ・女性の就業率の上昇
 - ・生涯を通じた健康支援の必要性への認識
 - ・家事・育児・介護負担の女性への偏り
 - ・ワーキングケアラーの増加
 - ・働き方の多様化（起業、フリーランス等）
- ③ ビジネス・地域経営の動向・変化
 - ・人的資本経営・健康経営・従業員のエンゲージメント向上に向けた取組への関心
 - ・ビジネスにおける人権尊重意識
 - ・地域からの若年女性の転出超過、女性・若者に選ばれる地方に向けた取組の必要性

2 意識・価値観の動向・変化

- ・固定的な性別役割分担意識
- ・希望するライフコース
- ・暴力・ハラスメントに関する意識

3 技術の急速な進展・進化

- ・AI活用の拡がり（業務改善・効率化等）
- ・ジェンダー・イノベーション（性差医療など、性差を考慮した研究開発の進展）

4 安全・安心に影響を与える様々な要因

- ・経済状況と生活の見通し
- ・テクノロジーによる負の影響
- ・頻発する大規模災害、気候変動が与える影響

5 国際的な潮流

- ・デジタル・グリーン経済（STEM教育、起業家育成）
- ・ケアエコノミー（無償・有償ケア労働の軽減・再分配等）
- ・WPS（女性、平和、安全保障）
- ・男性の在り方に関する政策（家事・育児・介護への参画促進等）
- ・その他諸外国・国際的な動向（国際的な指標・目標）

基本的な視点と取り組むべき事項等

※WG1：基本構想WG、WG2：人材・地域・意識WG、WG3：安全・安心WG

全ての人が性別にかかわらず自らの個性と能力を十分に発揮し、生きがいを感じられる社会を実現するとともに、我が国の経済社会にイノベーションをもたらす持続的な発展の確保にも資するよう、次世代に向けたメッセージも念頭に置きながら、以下に取り組む。

- 男女間の実質的な機会の平等を担保する観点から極めて重要である意思決定過程への女性の参画を一層加速するため、「30%目標」の達成と、その先の、誰もが性別を意識することなく活躍でき、指導的地位にある人々の性別に偏りがないような社会に向け、国際的な水準も意識しつつ、ポジティブ・アクションも含め、人材登用・育成を強化する必要。【WG1、WG2】
- 全ての人のにとって働きやすい環境づくりと女性の所得向上・経済的自立に向けた取組の一層の推進。その基盤として、両立支援（育児、介護、健康、学び等）、多様で柔軟な働き方の推進、長時間労働の是正、ハラスメント対策及びリスキリングの促進。【WG2、WG3】
- 各地域の実情を踏まえた取組を促進し、更に女性にも選ばれる地方づくりを後押しするため、各地域における男女共同参画の推進（都市部・地方における課題を踏まえた、雇用の場の創出・起業支援・非正規雇用の処遇改善と正規転換・男女間賃金格差の是正、固定的な性別役割分担意識の解消・慣行の見直し、教育分野の取組、取組の連携や横展開）。【WG2】
- 科学技術分野への女性の参画・登用、様々な分野における性差による影響に配慮した施策の実施、性差の視点を踏まえたイノベーションの創出を推進し、AI等の科学技術の発展に男女が共に寄与するとともに、その発展が男女共同参画に資するよう取り組む必要。【WG2】
- 多様な性的・ジェンダーに基づく暴力が男女共同参画社会の実現を妨げていることを踏まえ、あらゆる性的・ジェンダーに基づく暴力を容認しない社会基盤の形成と被害者の尊厳を回復するための支援を強化する必要。【WG3】
- 社会的・経済的な男女間の格差が生活上の困難を固定化・複合化していることを背景に、多様かつ複合的な困難を抱える女性に対して困難な状況が固定化・連鎖しないようきめ細かな支援に取り組む必要。【WG3】
- 大規模災害での男女共同参画の視点の浸透の必要性が再認識されたことも踏まえ、男女共同参画の視点による防災・復興対策を徹底させる必要。【WG3】
- 制度や慣行が、実質的に男女にどのような影響を与えるのか常に検討され、経済社会情勢を踏まえて不断に見直されることが男女共同参画社会の形成のために重要であり、持続可能な活力ある我が国社会を次世代に引き継ぐためには、あらゆる分野において男女共同参画・女性活躍の視点を確保するとともに、制度・慣行が社会活動の選択にできる限り中立なものとする必要。【WG1】